

編集後記

本号の軸となっているのは、ハンス・ヨナス『グノーシスと古代末期の精神』（大貫隆訳）をめぐるシンポジウム、および、証聖者マクシモス『難問集——東方教父の伝統の精華』（谷隆一郎訳）をめぐる書評会の報告です。二つの大著を翻訳された新約聖書学と教父研究の第一人者の両先生をお迎えして実現した充実したシンポジウムと書評会の成果を活字にすることができました。これを契機に、我が国におけるグノーシス研究と東方教父の研究が更に活性化していくことを祈念しています。

（山本芳久記）